**「実習指導の実践とリフレクション」についてのご案内**

企画担当：永井（みなと赤十字病院）上垣（武蔵野赤十字病院）吉村（大森赤十字病院）

大学教員（古城門　清田　稲田）

1．日時：11月28日（月）　9：00～10：30

2．目的

1）講義での学習した内容を自施設の実習指導で活用し、指導スキルを身に着ける。

2）自身の指導を振り返るとともに、現指導案の修正や新しい指導案の作成ができる。

3．方法

　1)　自施設において実習指導案を用いた実習指導展開の中で、実際に経験した印象的な場面を複

数書きとめ、その体験を講義で学んだ内容と結びつけ意味づける。（詳細は次ページ）。

2）体験した内容をグループ内で共有し、さらに深く学習と結びつけ意味づけする。

3）2）の終了後、自分たちの指導について振り返り、新たな気づき、課題について話し合う。

4）1）～3）をもとに自施設において、自身の指導および指導案を振り返り、実習指導案の修正や新しい指導案の作成ができる。

　※　1)は11月28日まで自施設で行う。2）と3）は11月28日に実施する。

4)は11月28日以降、自施設で行う。

4．タイムスケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 8～11月 | | 自施設において実習指導案を用いた実習指導展開の中で、実際に学習した内容を経験した場面を複数書きとめる。 |
| 11月28日 | 9：00～9：05 | ＧＷの説明 |
| 9：05～9：35 | 各グループで自分の体験を発表し、全員分を共有する。 |
| 9：35～10：30 | グループワークテーマ  「自らの実習指導を振り返っての気づきと今後の課題」  自分たちの実習指導についての振り返りからの気づき、今後の課題をまとめる。 |

実習指導で経験した場面の記載用紙

施設名　　　　　　　　　氏名

印象に残った指導場面（良かったもの・うまくいかなかったもの）を意味づけしてみよう！

３場面以上にトライしてみましょう。

（実習生と関われなかった場合は、新人看護師や後輩看護師でも良いです）

※個人情報に注意して記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 印象に残った指導場面 | 学習内容からこの体験を意味づけてみる |
| 例１ | 患者さんと何を話したらいいかわからないという看護学生に、患者さんの困りごとはないか、体調はどうか、などから話してみることを提案した。すると会話が続くようになった。 | 教育原理の講義の中で、コミュニケーションに悩んだときは、マズローの欲求5段階の第1段階を活用していくと良いと言われていたため、そこを伝えてみたら、本当に会話が続くようになった。 |
| 例２ | 学生の手技が悪く、患者さんの清拭が上手くいかなかった。振り返りをした時、「患者さんの具合が悪かったので」と学生が言ったので驚いた。具体的にどこがいけなかったのかを伝えたが、納得しなかった。 | 有元先生の講義で、慣れないことに取り組む場面はいつもリスク（不安）の場であると教えられた。また、教育心理の学習内容から見ると、この学生は自己評価は高いが傷つきやすい傾向があったのかもしれない。学生が緊張しないような学習環境をデザインして、まずできたことを褒めるようにしたら良かったかもしれない。 |
| １ |  |  |
| ２ |  |  |
| ３ |  |  |